

【理事会議事録】

日 時：2012年6月23日（土）13:00～18:00

場 所：八重洲ホール 302号室

出席理事：岡村，杉山，河合，本原，竹田，松尾，田代，幸村，茂山，柏川，吉川，山田，太田，仲野（以上14名）

欠席理事：梅村（以上1名）

また，西野事務長およびに参考人としてPASJ編集顧問の桜井 隆氏が出席した。

I. 確認事項など

I-1 議事に先立ち，議長と署名人の確認がなされた。

議 長：岡村定矩

署名人：竹田洋一，本原顕太郎

I-2 前回議事録の確認（資料2，本原）

資料1に基づき，前回（2012年3月19日）の理事会議事録が報告・確認された。

II. 報告

II-1 前回以降の新入・退会等会員の変動（資料3，本原）

2012年3月13日より2012年6月20日までの間の会員変動が報告された。新入会は正会員59名，準会員31名，団体会員1団体で，退会者は14名，1団体であった。相変わらず準会員で入会する大学院学生が特定の大学で多く見られ，正会員の趣旨を伝えるキャンペーンを早急に行うこととした。

II-2 事業担当理事の近況

1. 年会（幸村）

秋季年会の申し込みが完了し，709件の申し込みがあった。その内，30%の支払いがまだ完了していない。6月29日にプログラム編成会議を行う。また，来年の春季年会時の会員全体集会開催に必要な時間枠については，基本的にこれまでの総会と同じではあるが，入場時のチェックがなくなるためその分の時間は短くなるだろう。

2. 天文月報（柏川）

編集委員の努力により，原稿は増えてきている。巻頭グラビアやソフトウェア紹介など新たな企画が始まりつつあるので期待してほしい。

3. PASJ（資料4，茂山）

レターのページ数制限を，他のメジャー誌に合わせて5ページに緩めた。来年度から学術誌関連の科研費制度が大幅に変更されることが判明した。これまでの定期的な学術誌刊行に代わり，国際情報発信強化に対する目標設定が求められる模様。PASJは平成25年度までは現行の枠組みでの科研費交付が決定しているので，来年度の新制度への申請は見送ることを考えている。

4. 庶務（本原）

天文学会のサーバを，すべてレンタルサーバに移行した。これにより，ハードウェア障害や停電などに対する心配は基本的にはなくなる。

5. 会計（松尾）

会計のシステムを変更し，新法人法に対応したものとした。大幅な変更が行われていることに注意が必要である。

6. 天文教育（吉川）

講師派遣プログラムの名簿のアップデートを行っている。現在の講師派遣プログラムは手動で行っており，年間十数件。科学館や地方からの依頼が多い。

II-3 事務所の近況報告（西野，資料5）

現在11名が事務所で作業しており，勤務状況などには変化はない。

II-4 今後の年会の準備状況

1. 大分大学（仲野，資料6）

会場利用料は全額免除となった。アルバイト学生は現在募集中。会場での無線LANの使用が可能となった。利用者は申し込み用紙に記入してIDを申請する。上記無線LANでどこでもネットワークに接続は可能であるが、休憩室としても使えるインターネット部屋を確保する。

懇親会内容はこれから決定するが、定員は250名である。

II-5 次期役員，委員会について（本原）

次期は年度変更の関係で年会在が5回開催されるため、開催地理事の数が5名となり、理事の総数も16名となる。

II-6 会長・代議員選挙について（本原）

会長選挙，代議員選挙は7月20日が立候補締め切り，8月7日より投票が開始されて9月7日開票となる。また，会員から代議員選挙の推薦委員会への推薦は正会員以外も行えるのかという問い合わせがあったが，これは正会員のみであることが確認された。代議員選挙施行細則に曖昧な部分もあるため，来年以降に修正することも検討する。

II-7 新法人移行スケジュールについて（杉山，本原）

4月15日に実務理事がまる一日集まり申請書類をほぼ完成させた後，各種修正を経て6月4日に新法人移行申請を行った。申請の受付の連絡は既にあり，順調に進めば今年末に承認され，移行登記を行って2013年度より公益社団法人となる。

II-8 日韓合同セッション（河合）

日本側世話人の柴田一成氏と相談をしている。2013年度春，あるいは秋の開催となるだろう。

II-9 新法人の内規の検討状況（資料10，杉山）

新法人への移行に伴い，細則および内規の体系の再見直しを行い，大幅な改訂を検討している。内規については理事および各委員会委員長に回覧して意見収集した後，秋の評議員会での承認を考えている。

III. 議題

III-1 OUPへの製作販売委託の承認（資料4，茂山，桜井）

現在のPASJの大きな問題点として，受理後出版まで非常に時間がかかっていることがある。これは，誌面製作時の編集校正によるものである。これに対し，誌面制作のサポートと販売をOxford University Press（OUP）に委託することが提案された。メリットとしては，受理から電子版の公開まで6週間以内となること，印刷代の大幅な圧縮，OUPへの販売委託による購読数の増加などがある。デメリットは，為替レートの変動，イギリスのインフレ率に合わせた年間数%の値上げ，E-openの大幅な値上げ（論文あたり20万円程度）などがある。

利益・損失はOUPと学会で7:3で分配する。収支のシミュレーションでは移行初年度でも300万円程度の赤字と現在の2,000万円程度の赤字に比べ大幅に改善することが期待される。開始するとすれば最速2014年度となる。

これに対し，誌面電子データの所有権はどうなるのかという質問がなされ，学会側に帰属し，他出版社への移行時も問題ないことが確認された。また，校正や誌面のスタイルは現状のものが維持できるのかという質問がなされ，現在のノウハウを残すために校閲と編集作業の1/4は天文学会側が担当する体制とすることが説明された。以上の議論を経て，提案は賛成多数で承認された。

III-2 PASJサイトライセンス導入の承認（資料4，松尾）

現在は設定されていないサイトライセンス制度の導入の検討を進め，機関規模，および販売価格を検討した。これに対し，値上げ幅が大きいためにもう少し価格を圧縮するべきである，機関規模をどのように算出するかを明確にすべきである，などの意見が出された。以上の議論を踏まえ，確認すべき事項は電子メールで後日審議する事を条件に，サイトライセンス制度の導入の基本方針を承認した。

後日のメール審議により，価格設定を大幅に圧縮すること，および機関規模は丸善と利用者の間で交わされるアンケートシートで回答してもらい，天文学会事務でも確認することを全理事一致で承認した。

以上の議論の結果，サイトライセンス制度の導入を承認した。

III-3 2013年度事業計画書案（資料8，本原）

2013年度事業計画書案が説明された。細かな字句の誤りなどの修正を条件に賛成多数で承認された。

III-4 2013年度予算書案（資料9、松尾）

2013年度予算書案が説明された。過去予算からの最大の変更は、新会計法に則った書式になったことで、一般会計と特別会計の明確な区別がなくなったことである。また、来年度は15カ月という変則的な年度であるため、会費収入は1.25倍にとどまるのに対し、各賞の表彰経費は2倍、年会開催費用は1.5倍など支出がそれを上回る。このため、最終収支は600万円の赤字となっている。

これに対し、予算書式の新旧対応はどのようになっているのかなどの質問がなされた。さらに、そもそも経費増大分を考慮したとしても赤字額が大きすぎるのではないかと、15カ月年度の影響で個々の事業ごとにどの程度の収支悪化が予想され、それと今回の予算との乖離をチェックすべきではないか、などの指摘がなされた。以上の議論を踏まえ、個別の予算積み上げを再度詳細に行い、その確認と承認はメール審議とすることとした。

後日、経費の圧縮を含む各項目の見直しを行い、最終赤字額を350万円にまで圧縮した予算案をメール審議し、全理事一致で承認した。

以上の手続きを経て、2013年度予算書案は承認された。

III-5 新法人の細則の承認（資料10、杉山）現在の各種細則を、新法人の定款に合うように修正・新設・廃止する。

- ・「会費に関する細則」の変更

賛成多数で承認された。

- ・「天体発見賞に関する細則」の内規への変更

他の各賞の規定が内規なのに対し、天体発見賞のみ細則であった。これは、昭和12年制定という歴史的経緯によるものである。

賛成多数で承認された。

- ・「評議員選挙施行細則」の廃止

賛成多数で承認された。

- ・「理事長選挙施行細則」の廃止

賛成多数で承認された。

- ・「会長・副会長・理事・監事選考細則」の新設

賛成多数で承認された。

- ・「役員の報酬及び費用に関する細則」の新設

新定款では常勤理事を設置することが可能となっているが、その場合には新法人移行申請時にこの規定を合わせて提出する必要がある。

賛成多数で承認された。

III-6 年会費のコンビニ支払いの導入（資料11、本原）

現在、天文月報にはさみこまれている年会費の支払いのための郵便振替用紙を、コンビニ支払い用紙へ変更する。メリットとして24時間手数料なしで会費の支払いが可能となること、事務手作業が激減するため効率の向上と入力ミスリスクの低減が期待されることなどがある。ただし、コンビニがない地域の会員は郵便振替手数料が新たに発生する。このため、現在も行っている口座自動引き落としを推奨するキャンペーンを平行して行う。

この提案は、賛成多数で承認された。

次回の理事会は日本天文学会2012年秋季年会期間中に開催される。

[資料リスト]

資料1 (社)日本天文学会理事会出欠表

資料2 前回理事会議事録(2012年3月19日)

資料3 入退会報告

資料4 PASJ編集委員会からの報告および議案

- 資料5 事務所報告
- 資料6 2012年秋季年会準備状況
- 資料7 次期役員候補者
- 資料8 2013年度事業計画書（案）
- 資料9 2013年度予算書（案）
- 資料10 新法人細則・内規案
- 資料11 会費コンビニ納入システム導入について

2012年9月3日

議長：岡村定矩 印

署名人：竹田洋一 印

署名人：本原顕太郎 印